※令和４年度以降入学生用

学校番号	411

令和８年度　地理歴史科

教科	地理歴史	科目	世界史探究	単位数	３単位	年次	２年次
使用教科書	新詳世界史探究（帝国書院）						
副教材等	最新世界史図説タペストリー二十四訂版（帝国書院）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

主に、原始・古代以後の世界の歴史を、「グローバル化」の観点から横断的かつ主体的に学習する。世界と日本の緊密な結びつきと歴史の流れ・動き・背景を学び、社会の変化や時代の発展について考察・理解を深めつつ、世界・日本は今後どのような方向にむかって動いていくのかを考察する多面的・多角的な歴史的思考力を身につけてください。なお、歴史の流れの理解を深めるために、教科書を順序通りに進まず、一部変更することがあります。

２　学習の到達目標

【知識及び技能】
基本的事項を精選して指導内容を構成し、異文化の多様性に立脚する世界史の多様性にかんがみた知識をつける
【思考力、判断力、表現力等】
自主的に世界史の中に日本の希少性、を理解させつつ生徒個人の国際感覚を涵養する。
【学びに向かう力、人間性等】
人類が直面する課題を、政治・経済・文化・生活など多様な視点から、習得した世界史の知識、技能をもとに考察し、その解決法を発見していく能力を養う。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	原始・古代から近現代を中心とする世界の歴史についての基本的な事柄を地理的条件や日本の歴史と関連付けながら理解し、その知識を身につけている。	現代世界の諸課題を歴史的観点から考察し、国際社会の変化を踏まえ公正に判断して、その過程や結果を適切に表現している。	原始・古代から近現代を中心とする世界の歴史に関する諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表などにまとめようとしている。古代から近代を中心とする世界の歴史に対する関心と課題意識を高め、意欲的に追究している。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	第1章　地球環境からみる人類の歴史・序章　古代文明の歴史的特質	・人類の歴史 ・古代文明 ・南北アメリカ大陸とその諸文明 ・アフリカ大陸の古代文明	a:古代文明の歴史的特質について，基本的な事柄を理解し、その知識を身につけている。 b:古代文明に関わる諸事象の背景や原因，結果や影響，事象相互の関連などに着目し，主題を設定し，諸資料を比較したり関連付けたりして読み解き，自然環境と生活や文化との関連性，農耕・牧畜の意義などを多面的・多角的に考察し，表現している。 c: 古代文明の歴史的特質について，よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究，解決しようとしている。 ・多面的・多角的な考察や深い理解を通して我が国の歴史に対する愛情，他国や他国の文化を尊重することの大切さについて自覚している。	・定期テスト ・ワークシート ・単元テスト	・定期テスト(資料読解・論述問題) ・ワークシート	・討論や発表 ・ワークシート
	第2章　東アジアと中央ユーラシアの歴史的特質	1. 中華文明の形成 2. 秦漢帝国と東アジア 3. 中央ユーラシアと遊牧国家 4. 遊牧帝国の興亡と移動 5. ユーラシアの変動と東アジア	a: 秦・漢と遊牧国家，唐と近隣諸国の動向などを基に，東アジアと中央ユーラシアの歴史的特質を理解している。 b: 中央ユーラシアについては、広い視野に立って多面的・多角的に考察し、社会の変化や様々な考え方を踏まえ公正に判断して、その過程や結果を適切に表現している。 ・胡漢融合帝国の成立事情と現在のグローバル化との対比を通じて主題を設定し，諸資料を比較し関連付け，その意義について多面的に考える。 c: 東アジアと中央ユーラシアの歴史的特質について，よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究，解決しようとしている。 ・多面的・多角的な考察や深い理解を通して我が国の歴史に対する愛情，他国や他国の文化を尊重することの大切さについて自覚している。	・定期テスト ・ワークシート ・単元テスト	・定期テスト(資料読解・論述問題) ・ワークシート	・討論や発表 ・ワークシート

※令和４年度以降入学生用

5月	第2章　南アジアと東南アジアの歴史的特質	1．南アジアの文明と国家形成 2．東南アジアの社会と国家形成	a：仏教の成立とヒンドゥー教，南アジアと東南アジアの諸国家などを基に，南アジアと東南アジアの歴史的特質を理解している。 b：南アジアと東南アジアの歴史に関わる諸事象の背景や原因，結果や影響，事象相互の関連，諸地域相互の関わりなどに着目し，主題を設定し，諸資料を比較したり関連付けたりして読み解き，南アジアと東南アジアにおける宗教や文化の特色，東南アジアと周辺諸地域との関係などを多面的・多角的に考察し，表現している。 c：教科書や配布した資料にある原典の解読と有用な情報を適切に選択して、効果的に活用しようとしている。	・定期テスト ・ワークシート ・単元テスト	・定期テスト（資料読解・論述問題） ・ワークシート	・討論や発表 ・ワークシート
	第3章　西アジアと地中海周辺の歴史的特質	1．オリエント文明の興亡 2．地中海周辺の国家形成 3．地中海周辺と西アジアの帝国	a：キリスト教とイスラームの成立とそれらを基盤とした国家の形成などを基に，西アジアと地中海周辺，ヨーロッパの歴史的特質を理解している。 b：西アジアと地中海周辺の歴史に関して、主題を設定し，諸資料を比較したり関連付けたりして読み解き，西アジアと地中海周辺の諸国家の社会や文化の特色などを多面的・多角的に考察し，表現している。 c：教科書や配布した資料にある原典の解読と有用な情報を適切に選択して、効果的に活用しようとしている。	・定期テスト ・ワークシート ・単元テスト	・定期テスト（資料読解・論述問題） ・ワークシート	・討論や発表 ・ワークシート
6月	第3章　西アジアと地中海周辺の歴史的特質	4．ヨーロッパへ広がるキリスト教 5．イスラームの誕生	a：キリスト教とイスラームの成立とそれらを基盤とした国家の形成などを基に，西アジアと地中海周辺，ヨーロッパの歴史的特質を理解している。 b：西アジアと地中海周辺，ヨーロッパの歴史に関わる諸事象の背景や原因，結果や影響，事象相互の関連，諸地域相互の関わりなどに着目し，主題を設定し，諸資料を比較したり関連付けたりして読み解き，キリスト教とイスラームを基盤とした国家の特徴などを多面的・多角的に考察し，表現している。 c：西アジアと地中海周辺，ヨーロッパの歴史的特質について，よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究，解決しようとしている。 ・多面的・多角的な考察や深い理解を通して我が国の歴史に対する愛情，他国や他国の文化を尊重することの大切さについて自覚している。	・定期テスト ・ワークシート ・単元テスト	・定期テスト（資料読解・論述問題） ・ワークシート	・討論や発表 ・ワークシート

※令和４年度以降入学生用

	第１章　ユーラシア大交流圏の成立	１．イスラーム世界の拡大 ２．ヨーロッパ封建社会の展開	a:西アジア社会の動向とアフリカ･アジアへのイスラームの伝播，ヨーロッパ封建社会とその展開などを基に，海域と内陸にわたる諸地域の交流の広がりを構造的に理解している。 b:諸地域の交流の広がりに関わる諸事象の背景や原因，結果や影響，事象相互の関連，諸地域相互のつながりなどに着目し，主題を設定し，諸資料を比較したり関連付けたりして読み解き，諸地域へのイスラームの拡大の要因，ヨーロッパの社会や文化の特色などを多面的･多角的に考察し，表現している。 ｃ：西アジア社会の動向とイスラームの伝播，ヨーロッパ封建社会とその展開について，よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究，解決しようとしている。	･定期テスト ･ワークシート ･単元テスト	･定期テスト（資料読解･論述問題） ･ワークシート	･討論や発表 ･ワークシート
7月	第１章　ユーラシア大交流圏の成立	３．東アジア諸地域の成長と自立 ４．ユーラシア大帝国の出現	a：宋の社会とモンゴル帝国の拡大などを基に，海域と内陸にわたる諸地域の交流の広がりを構造的に理解している。 b：諸地域の交流の広がりに関わる諸事象の背景や原因，結果や影響，事象相互の関連，諸地域相互のつながりなどに着目し，主題を設定し，諸資料を比較したり関連付けたりして読み解き，中国社会の特徴やモンゴル帝国が果たした役割などを多面的･多角的に考察し，表現している。 c：海域と内陸にわたる諸地域の交流の広がりについて，よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究，解決しようとしている。 ･多面的･多角的な考察や深い理解を通して我が国の歴史に対する愛情，他国や他国の文化を尊重することの大切さについて自覚している。	･定期テスト ･ワークシート ･単元テスト	･定期テスト（資料読解･論述問題） ･ワークシート	･討論や発表 ･ワークシート
	第２章　アジア諸地域の成熟とヨーロッパの進出	１．明の国際秩序と東・東南アジア ２．世界帝国清とアジア諸国の成熟 ３．スペインとポルトガルの進出 ４．イスラーム世界の成熟	a：アジア海域での交易の興隆，明と日本･朝鮮の動向，スペインとポルトガルの活動などを基に，諸地域の交易の進展とヨーロッパの進出を構造的に理解している。 b：諸地域の交易とヨーロッパの進出に関わる事象相互の関連，諸地域相互のつながりなどに着目し，主題を設定し，アジア海域での交易の特徴，ユーラシアとアメリカ大陸間の交易の特徴とアメリカ大陸の変容などを多面的・多角的に考察し，表現している。 c：諸地域の交易の進展とヨーロッパの進出について，多面的･多角的な考察や深い理解を通して他国や他国の文化を尊重することの大切さについて自覚している。	･定期テスト ･ワークシート ･単元テスト	･定期テスト（資料読解･論述問題） ･ワークシート	･討論や発表 ･ワークシート

※令和４年度以降入学生用

2学期8月	第3章　主権国家体制の成立と交易の拡大	1．ルネサンスと宗教改革 2．主権国家の成立と「17 世紀の危機」 3．東欧諸国の台頭とヨーロッパ文化の成熟 4．イギリスとフランスの覇権争いと大西洋三角貿易	a：宗教改革とヨーロッパ諸国の抗争，大西洋三角貿易の展開，科学革命と啓蒙思想などを基に，主権国家体制の形成と地球規模での交易の拡大を構造的に理解している。 b：ヨーロッパ諸地域の動向に関わる諸事象の背景や原因，結果や影響，事象相互の関連，諸地域相互のつながりなどに着目し，主題を設定し，諸資料を比較したり関連付けたりして読み解き，宗教改革の意義，大西洋両岸諸地域の経済的連関の特徴，主権国家の特徴と経済活動との関連，ヨーロッパの社会や文化の特色などを多面的・多角的に考察し，表現している。 c：主権国家体制の形成と地球規模での交易の拡大について，よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究，解決しようとしている。 ・多面的・多角的な考察や深い理解を通して我が国の歴史に対する愛情，他国や他国の文化を尊重することの大切さについて自覚している。	・定期テスト ・ワークシート ・単元テスト	・定期テスト（資料読解・論述問題） ・ワークシート	・討論や発表 ・ワークシート
9月	第1章　環大西洋革命～工業文明と国民国家の誕生～	1．世界で最初の工業化 2．アメリカの独立 3．フランス革命と国民国家の誕生 4．ラテンアメリカへの革命の波及	a：産業革命と環大西洋革命などを基に，国民国家と近代民主主義社会の形成を構造的に理解している。 b：大西洋両岸諸地域の動向に関わる諸事象の背景や原因，結果や影響，事象相互の関連，諸地域相互のつながりなどに着目し，主題を設定し，諸資料を比較したり関連付けたりして読み解き，産業革命や環大西洋革命の意味や意義などを多面的・多角的に考察し，表現している。 c：産業革命と環大西洋革命について産業革命によっておこった変化のうち，世界史上の転換点として考えられるものについて，さまざまな技術革新，資本主義と社会主義の関係，国際関係の再編などを踏まえながら，主体的に追究しようとしている。	・定期テスト ・ワークシート ・単元テスト	・定期テスト（資料読解・論述問題） ・ワークシート	・討論や発表 ・ワークシート
10月	第2章　イギリスの覇権と欧米の国民国家建設	1．イギリスの覇権と自由主義 2．ヨーロッパに広がる国民国家 3．アメリカ合衆国の拡大と国家統合	a：自由主義とナショナリズム，南北戦争の展開などを基に，国民国家と近代民主主義社会の形成を構造的に理解している。 b：大西洋両岸諸地域の動向に関わる諸事象の背景や原因，結果や影響，事象相互の関連，諸地域相互のつながりなどに着目し，主題を設定し，諸資料を比較したり関連付けたりして読み解き，自由主義とナショナリズムの特徴，南北アメリカ大陸の変容などを多面的・多角的に考察し，表現している。 c：国民国家と近代民主主義社会の形成について自由主義・ナショナリズム・社会主義のうち，のちの時代に最も影響を与えることになると考えるものについて，自身の価値観に照らし合わせながら，よりよい社会の実現を視野に，主体的に追究しようとしている。	・定期テスト ・ワークシート ・単元テスト	・定期テスト（資料読解・論述問題） ・ワークシート	・討論や発表 ・ワークシート

※令和４年度以降入学生用

11月 12月	第3章　世界の一体化の進展とアジアの変容・第4章　世界の一体化の完成とその影響	１．イスラーム王朝の解体と変容 ２．南・東南アジアの変容 ３．東アジア諸国の模索と変容 第４章 １．帝国主義と世界分割競争 ２．アジア知識人による体制改革の試み	a：国際的な分業体制と労働力の移動，イギリスを中心とした自由貿易体制，アジア諸国の植民地化と諸改革などを基に，世界市場の形成とアジア諸国の変容を構造的に理解している。第二次産業革命と帝国主義諸国の抗争，アジア諸国の変革などを基に，世界分割の進展とナショナリズムの高まりを構造的に理解している。 b：列強の対外進出とアジア・アフリカの動向に関わる諸事象の背景や原因，結果や影響，事象相互の関連，諸地域相互のつながりなどに着目し，主題を設定し，諸資料を比較したり関連付けたりして読み解き，世界経済の構造的な変化，列強の帝国主義政策の共通点と相違点，アジア諸国のナショナリズムの特徴などを多面的・多角的に考察し，表現している。 c：世界市場の形成とアジア諸国の変容，世界分割の進展とナショナリズムの高まりについて，よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究，解決しようとしている。特にアフリカの現状をふまえてそこに至る歴史的経緯を整理しながら，自身の生活や経験とも関連付けて，主体的に追究しようとしている。	・定期テスト ・ワークシート ・単元テスト	・定期テスト（資料読解・論述問題） ・ワークシート	・討論や発表 ・ワークシート
	第５章　世界大戦の時代	１．第一次世界大戦と社会主義革命 ２．第一次世界大戦とアジアのナショナリズムの展開	a：第一次世界大戦とロシア革命，ヴェルサイユ・ワシントン体制の形成，アメリカ合衆国の台頭，アジア・アフリカの動向とナショナリズムなどを基に，第一次世界大戦の展開と諸地域の変容を構造的に理解している。 b：第一次世界大戦と大戦後の諸地域の動向に関わる諸事象の背景や原因，結果や影響，事象相互の関連，諸地域相互のつながりなどに着目し，主題を設定し，諸資料を比較したり関連付けたりして読み解き，第一次世界大戦後の国際協調主義の性格，アメリカ合衆国の台頭の要因，アジア・アフリカのナショナリズムの性格などを多面的・多角的に考察し，表現している。 c：第一次世界大戦の展開と諸地域の変容について，よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究，解決しようとしている。とりわけ、第一次世界大戦がそれまでの戦争とどのような点で異なっているのか，主体的に追究しようとしている。	・定期テスト ・ワークシート ・単元テスト	・定期テスト（資料読解・論述問題） ・ワークシート	・討論や発表 ・ワークシート

※令和４年度以降入学生用

3学期 12月1月	第5章　世界大戦の時代・第6章　第二次世界大戦と戦後の国際秩序	３．大衆社会の到来とファシズムの出現 ４．第二次世界大戦とその惨禍 第６章 ・戦後の国際秩序と冷戦	a:世界恐慌とファシズムの動向，ヴェルサイユ・ワシントン体制の動揺などを基に，国際関係の緊張と対立を構造的に理解している。 第二次世界大戦の展開と大戦後の国際秩序，冷戦とアジア諸国の独立の始まりなどを基に，第二次世界大戦の展開と諸地域の変容を構造的に理解している。 b: 世界恐慌と国際協調体制の動向に関わる諸事象の背景や原因，結果や影響，事象相互の関連，諸地域相互のつながりなどに着目し，主題を設定し，諸資料を比較したり関連付けたりして読み解き，世界恐慌に対する諸国家の対応策の共通点と相違点，ファシズムの特徴，第二次世界大戦に向かう国際関係の変化の要因などを多面的・多角的に考察し，表現している。 c: 戦間期における国際関係の緊張と対立，第二次世界大戦の展開と諸地域の変容について，多面的・多角的な考察や深い理解を通してファシズムに加担しないためにどのようにすればよいか，様々な資料（タペストリーP252 等）の内容を読み取り，自身の生活や経験とも関連付けて，主体的に追究しようとしている。	・定期テスト ・ワークシート ・単元テスト	・定期テスト(資料読解・論述問題) ・ワークシート	・討論や発表 ・ワークシート
1月	第1章　冷戦の展開と平和の模索	１．集団安全保障と冷戦の展開 ２．多極化の始まり ３．新しい国際秩序を求めて	a：集団安全保障と冷戦の展開，アジア・アフリカ諸国の独立と地域連携の動き，平和共存と多極化の進展，冷戦の終結と地域紛争の頻発などを基に，紛争解決の取組と課題を理解している。 b：国際機構の形成と紛争に関わる諸事象の歴史的背景や原因，結果や影響，事象相互の関連，諸地域相互のつながりなどに着目し，主題を設定し，諸資料を比較したり関連付けたりして読み解き，国際連盟と国際連合との共通点と相違点，冷戦下の紛争解決と冷戦後の紛争解決との共通点と相違点，紛争と経済や社会の変化との関連性などを多面的・多角的に考察し，表現している。 c：紛争解決の取組と課題について，よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究，解決しようとしている。 ・多面的・多角的な考察や深い理解を通して我が国の歴史に対する愛情，他国や他国の文化を尊重することの大切さについて自覚している。	・定期テスト ・ワークシート ・単元テスト	・定期テスト(資料読解・論述問題) ・ワークシート	・討論や発表 ・ワークシート

※令和４年度以降入学生用

二月	第2章　グローバル化する国際経済とその課題・第3章　情報と科学技術によって結びつく世界	１．冷戦下の経済秩序と格差 ２．グローバル経済の光と影	a：先進国の経済成長と南北問題，アメリカ合衆国の覇権の動揺，資源ナショナリズムの動きと産業構造の転換，アジア・ラテンアメリカ諸国の経済成長と南南問題，経済のグローバル化等を基に，格差是正の取組と課題を理解している。 b：国際競争の展開と経済格差に関わる諸事象の歴史的背景や原因，結果や影響，事象相互の関連，諸地域相互のつながりなどに着目し，主題を設定し，諸資料を比較したり関連付けたりして読み解き，先進国による経済援助や経済の成長が見られた地域の特徴，諸地域間の経済格差や各国内の経済格差の特徴，経済格差と政治や社会の変化との関連性などを多面的・多角的に考察し，表現している。 c：格差是正の課題と取組について，冷戦と南北問題がもっていた問題点をそれぞれ挙げたうえで，どちらが先に解決すべき問題だと考えられるか，歴史的事実を根拠にしながら主体的に追究しようとしている。 ・２度の石油危機とベトナム戦争がどのような世界経済の変化をもたらしたのかを整理したうえで，そのうち最も重要だと考える事柄について，主体的に追究しようとしている。	・定期テスト ・ワークシート ・単元テスト	・定期テスト(資料読解・論述問題) ・ワークシート	・討論や発表 ・ワークシート

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度